

Niigata College of Nursing

専攻科入学案内

地域看護学専攻

助産学専攻



新潟県立看護短期大学



より高度な看護職員をめざして

学長 齋藤 秀 晃

本学は、平成6年4月に開学した短期大学ですが、時代と社会のニーズにこたえ、平成9年4月に専攻科（地域看護学専攻、助産学専攻）を設置します。

最近の人口の少子化や高齢化、あるいは疾病構造の変化や医療の高度化など、社会環境の変化は単に保健婦（士）や助産婦の需要を増すばかりではなく、より資質の高い看護職員が必要となります。

このような要請にこたえるため、経験豊かな教員を招聘し実習に必要な最新の設備を整えました。また、看護専門教育の一貫性や大学としての運営を考えて、大学全体の教員がそれぞれの専門教育を行うことにするなど、保健婦（士）や助産婦を養成するに当たり新しい教育のあり方を検討し準備を進めてまいりました。

ちょうど本学の1期生が看護学科を卒業する時期に専攻科を設置することになりますが、広く新潟県内はもとより、全国からの皆さんの入学を期待しています。

● 沿 革

- | | |
|---------|--|
| 平成2年12月 | 県立看護系短期大学設立検討委員会設置 |
| 平成3年4月 | 県立看護短期大学設立準備室設置 |
| 11月 | 県立看護短期大学基本構想・基本計画作成 |
| 平成4年10月 | 校舎等建築工事着工 |
| 平成5年12月 | 新潟県立看護短期大学設置認可 |
| 平成6年1月 | 校舎等完成 |
| 4月 | 新潟県立看護短期大学開学、看護婦学校として文部大臣指定 |
| 平成8年9月 | 文部省へ専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届出
文部省へ保健婦学校及び助産婦学校の指定申請 |
| 平成9年4月 | 専攻科設置 |

今、地域が本当に必要としている人材を育てる

地域看護学専攻

地域看護学専攻は、看護基礎教育で学んだ知識・技術をもとに、地域で生活している人々を対象に健康レベルの向上をめざした地域看護活動を行う保健婦（士）を養成することを目的としています。

保健婦（士）は地域の人々の健康増進、疾病予防のために健康教育、健康相談、家庭訪問指導など幅広い活動を行います。また近年は、在宅療養者に継続的で総合的な保健福祉医療サービスを提供するためのケアコーディネーターとしての役割も期待されています。

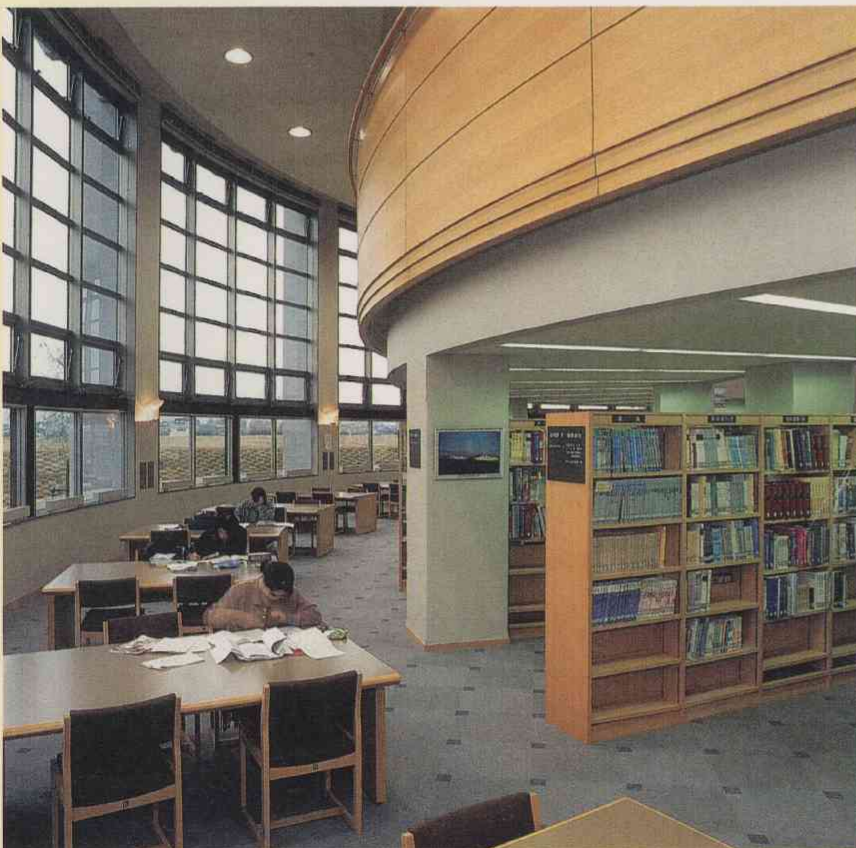
急激な人口の高齢化、健康意識の高揚等に伴い、地域保健ニーズは複雑、多様化しています。加えて医学の進歩も目覚ましく、保健婦（士）には一層幅広く、かつ専門的な知識・技術が要求されています。



大学周辺地域の乳児やお年寄りを対象に家庭訪問実習を行います。

授業科目

- 地域看護学概論
- 行政地域看護学
- 地域ケア学
- 福祉社会学
- 運動科学
- 行動科学
- 地域看護技術論 I
- 地域看護技術論 II
- 地域看護技術論 III
- 地域看護技術論演習
- カウンセリング
- 地域母子保健学
- 地域成人保健学
- 地域老年保健学
- 地域精神保健学
- 機能集団の保健管理
- 保健栄養論
- 地域看護学研究
- 疫学
- 保健統計学
- 環境保健論
- 保健行政論
- 福祉行政論
- 保健医療経済論
- 健康政策論
- 地域看護学実習 I
- 地域看護学実習 II



未来を担う、新しい命を大切に

助産学専攻

助産学専攻は、看護基礎教育を終了した者が保健医療施設や地域社会において次代を担う母子の健康生活の援助と指導に専門的にかかわる助産婦の養成を目的としています。

助産婦の役割は、助産を中心とする周産期の看護、及び女性の一生のライフサイクルを通じて、性と生殖を巡る健康問題について、相談・教育・援助活動を行うことです。

核家族の増加、女性の社会進出、出生率の低下、情報社会の進展等、母性や育児を取り巻く環境は急速に変化しています。このような社会環境の変化や保健・医療技術の進歩に対応するため、助産婦は高い先見性と柔軟性が必要となっています。



夫婦の共同作業としての子育て支援！「両親学級」を本番で演習中

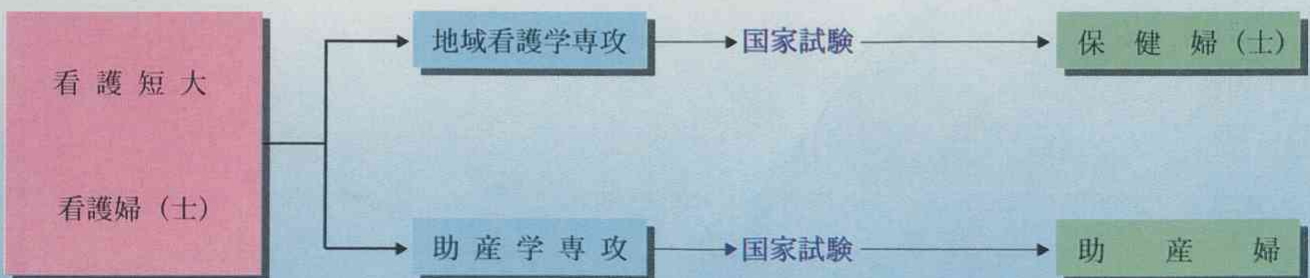
授業科目

- 助産学概論
- 発生学
- 遺伝学
- パーソナリティの諸問題
- 母性の精神衛生
- カウンセリング
- 福祉社会学
- 運動科学
- 行動科学
- 臨床助産学
- 助産診断技術学Ⅰ
- 助産診断技術学Ⅱ
- 助産診断技術学Ⅲ
- 助産診断技術学Ⅳ
- 分娩介助技術学
- 保健栄養論
- 助産学研究Ⅰ
- 助産学研究Ⅱ
- 母子保健行政
- 乳幼児保健学
- 助産管理学
- 保健医療経済論
- 情報管理学
- 助産学実習Ⅰ
- 助産学実習Ⅱ
- 助産学実習Ⅲ

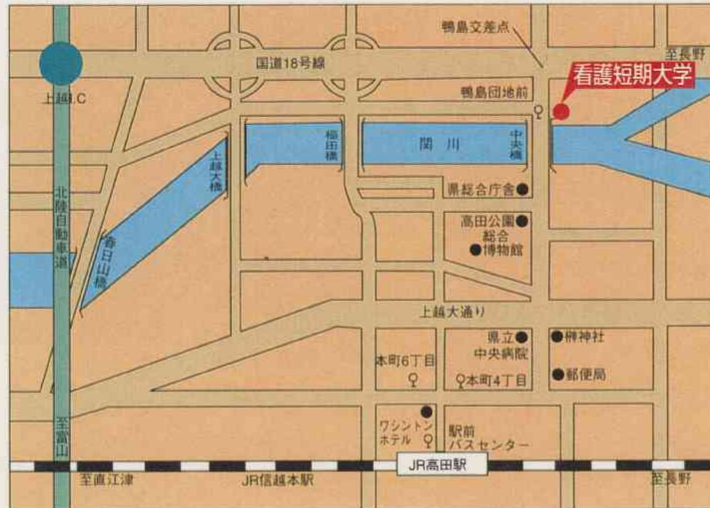




●修了後の資格



交通のご案内



- 駅前バスセンターまたは本町4丁目から柳島、茨沢方面行きバスに乗車し、鴨島団地前下車(約13分)、徒歩3分
- 北陸自動車道上越インターから車で10分



新潟県立看護短期大学

〒943-01 新潟県上越市新南町240番地 TEL.(0255)26-2811(代) FAX.(0255)26-2815